

安全説明書

改訂日 2012年9月11日

【製品名】

ハイショーカー（防炎加工剤）

型番：スーパーFX3200-4

【組成、成分情報】

特定物質名：防炎用セラミック・天然ミネラル液複合体・含有量 5%以下（劇物に該当せず）

CAS No. 1310-73-2・官報公示整理番号 1-410

【危険有害性の情報】

- ・ ガスの発生はありません。
- ・ ホルムアルデヒド・トルレン・キシレンなどの厚生労働省による規制対象物質は配合されていません。
- ・ アスベストは含有していません。
- ・ Cd, Cu, Hg（カドミウム・銅・水銀）等重金属類及びその化合物・有機水銀・六価クローム・シアンは含有していません。
- ・ pH 11.7。

【取扱時・人の体質上の注意】

顔や肌に直接触れるおそれのある場合、手袋（不浸性・ゴム又は塩化ビニール製を推奨）などの適切な保護具を着用してください。

長袖、長ズボンを着用し、必要に応じ前掛け・安全帽や長靴等を着用してください。

屋内や風の強いところでスプレーを行う場合は、マスクやゴーグルを着用してください。作業時には周囲にも十分注意し、必要に応じ立入禁止等の措置をとって下さい。作業後は手洗い・うがいを念入りに行なって下さい。

塗布後は乾くまで触らないでください。塗りすぎて液ダレしたときは、布等ですぐに拭き取り、拭き取った布は水でよく洗って下さい。

乾燥後は人の手で触っても無害ですが、万一腫れ・かゆみ等の症状が出た場合は、水でよく洗い、本説明書を持参の上医師の診断を受けてください。

【漏出時と応急処置】

人体に付着したときは、ぬめり感がなくなるまで水でよく洗い流して下さい。腫れ・かゆみ等の症状が出た場合は、本説明書を持参の上医師の診断を受けてください。

目に入ったときは、水でよく洗い流し、本説明書を持参の上医師の診断を受けてください。

万一飲み込んだときは、大量の水を飲ませて吐かせ、本説明書を持参の上医師の診断を受けてください。

【保管上の注意】

保管容器で密閉し、凍結や乾燥を防ぐため、直射日光を避け、通気のいい所で常温で保管してください。

保管容器材質はビニール袋や、ポリ容器を推奨します。誤用を防ぐため、必ず内容物を記載して保管して下さい。

スプレー容器の場合、吹き出し口を閉じるなどして密封状態を保って下さい。（容器によって密封のさせかたは異なります）

スプレーの吹き出し口に成分が固まって噴出できなくなったときは、吹き出し口を取り外し、お湯に浸けて洗い流して下さい。

子供がいたずら等をしないように、子供の手の届かないところに保管してください。

【火災時の措置】

本品自体に防災・消火効果があるため、必要ありません。

【廃棄上の注意】

廃棄の際は、「廃棄物処理法」「水質汚濁防止法」等の関係法令を遵守し、都道府県知事の認可を受けた廃棄物処理業者に委託してください。

使用済み容器は、十分に水洗いして容器の種別ごとに廃棄してください。

【輸送上の注意】

輸送時は密閉容器に入れ、直射日光を避け、容器の荷崩れ・転倒・落下等の障害や、漏れのない気配りを行い、確実な安全運搬に努めてください。

【適応法令】

- ・ 化審法： 既存化学物質（1-508）
- ・ 労働安全衛生法（特化物、有機溶剤、表示物質、通知対象物質）：規制無し
- ・ PRTR 法・消防法（危険物）・毒物及び劇物取締法・港則法：規制無し

【その他】

記載内容は、現時点で入手出来た情報に基づいて作成しておりますが、危険・有害性等に関して、当該化学物質の取り扱い上のいかなる保証をするものではありません。

用途・施工方法に応じて、試験の上必要な安全対策を行なって下さい。

注意事項については一般的な取扱いを対象とした物であり、特別な取扱いをする場合は用途・用法に応じた試験を行い、適切な安全対策を行なって下さい。

製品説明書

改訂日 2012年9月11日

【製造者情報】

会社名 株式会社フジヤマ
所在地 新潟県新潟市西区寺尾台1-1-20
連絡先 TEL 025-232-0222 FAX 025-231-2228
E-mail fujiyama@fujiyama-corp.jp
URL <http://www.fujiyama-corp.jp/>

【製品名】

ハイショーカー (防災加工剤)
型番：スーパーFX3200-4

【適用特徴】

1. アスベスト・木材・紙・繊維・農産廃棄物等の防災加工・難燃化。
(上記等の廃物粉塵共固化し補助材としてリサイクルに活用可能)
2. 防災用セラミックス・天然ミネラル液複合体成分で環境に優しい。
3. 無臭無色性、シックハウス症候群等該当しない。

【ご使用時の注意】

1. 「安全説明書」をよく読み、適切な安全対策を講じてから使用してください。
2. 容器をよく振って、十分に攪拌してからご使用ください。
無色透明のため、成分が沈殿していてもわかりづらいのでご注意ください。
3. 塗布した先に防腐剤等の成分が含まれている場合、反応して変色することがあります。変色しては困る場合、あらかじめ目立たない場所等で確かめてから塗布してください。変色しても防災性能には全く影響ありません。
4. 吸水性のない素材に塗布したり、塗布量が多すぎると、塗布面に白く成分が残ることがあります。その場合、布等で水拭きして拭き取って下さい。
5. 塗布した布・紙等の製品は、若干の硬さを感じる事もありますが、防災性能には全く影響ありません。
6. 薄めたり他の薬剤と混ぜたりしないでください。
7. 塗布に使用したハケ等の道具は、作業後に水でよく洗ってから保管してください。

【製品の性質】

- ・ 外観－無色透明無臭水溶液
- ・ 密度－1.20g/ml(±0.1)
- ・ 粘度－4.5mPa・s(±1.0)
- ・ pH－11.7
- ・ 臭い－無臭

- ・ 引火－発火点なし
- ・ 溶解性－水に混和する・不燃性

【製品保証】

1. 製品の保証範囲は、同製品の同量交換責任と致します。
2. 保管状況が不十分なことにより変質等した製品の責任はお受け出来ません。

【施工方法の例】

※本例は参考用ですので、実際の施工にあたっては、安全面・作業性等を考慮して計画を立ててください。

・ 畳

- ① 畳上にある物は、施工前に他の場所に移動します。
- ② 掃除機で畳目の間のゴミやホコリを綺麗に吸い取ります。
- ③ しっかり絞った水雑巾で畳の表面を軽く拭きとります。
- ④ 容器からハイショーカーをバケツ等の容器に移します。
- ⑤ 含ませた時にぽたぽたと液が落ちない程度の量をハケに含ませます。
- ⑥ 塗布する場所の目印を付け、塗り斑のない様に順次ハケ塗りを行いません。

・ 障子・ふすま

- ① 樹脂製のホコリ掃い具などで長年布積しているホコリ等を綺麗に吹き飛ばします。
- ② ガラス・額縁が収まっている部分を、新聞紙やマスキングテープで目隠し作業を行い、塗布準備を行います。
- ③ ハケで塗るかスプレーを吹き付けます。

・ フローリングや廊下の床材

- ① 畳①と同様、施工に邪魔な物は他へ移動させます。
- ② 塗布する箇所にペンキや他の塗料が先に塗布されている場合は染み込みが悪い場合もありますのでご注意ください。

・ カーテン

- ① 掃除機のホコリ吸い取り用具などで掃除を行います。
- ② カーテンを取り外した場合は、広い場所に広げてホコリを掃いながら吸い取ります。
- ③ 施工時に下に染み出ますので、台の上にシートなどを敷いてから施工します。